



中野区が今後5年間で重点的に進める教育（主な取り組み）

「生きる力」を育成します

確かな学力の定着

- 地域のボランティアを活用した教育活動支援を一層進めます。
- 家庭学習の習慣化を図るため、自主学習の「てびき」を作成します。
- 近年の若手教員の配置状況を踏まえ、若手教員の育成を柱とした研修の仕組みを作ります。

豊かな心の育成

- 児童生徒の発達段階に応じた体験的活動の充実を図ります。
- 区立中学校全校で、生徒の保育体験を実施します。
- 教育相談体制の整備や適応指導教室の拡充を進め、いじめや不登校への対応を図ります。

幼児期からの継続的・発展的な教育の推進

- 義務教育への円滑な接続を図るため、保育園・幼稚園・小学校間の相互理解を深めるための合同研修や保育・指導プログラムの合同作成を行います。また、幼保と小の連携教育の標準的方法を作成します。
- 小学校から中学校への学びの連続性を確保し、発達段階に応じた指導を行うため、小中の連携教育の標準的方法の作成、連携教育のモデル校の指定をはじめとする取り組みを通じて連携教育の推進を図ります。また、一部教科での小中一貫カリキュラムの作成に向けた検討も行います。

健康の増進と体力の向上

- 日常的に体を動かす意欲や実践力を育てるための継続的な取り組みを進めます。
- 児童生徒の実態を踏まえ、体力向上プログラムを改訂し、各校での授業モデルを作成します。
- 身近な地域で運動やスポーツに親しめる地域スポーツクラブを開設します。
- キッズ・プラザでの取り組みを通じて子どもたちの健やかな育ちを推進します。
- 幼稚園・保育園等での指導との連続性を重視した体力づくりを小学校で行います。

特別な支援が必要な子どもへの対応

- 各関係機関での支援方法や要支援者の情報を一元管理し、初期相談から継続した支援ができる体制と就学する学校との連絡体制を整備します。
- 障害や発達の状態に応じた教育を受けられる場として、特別支援学級の増設を進めます。
- 一人ひとりに応じた指導が行えるよう、通常の学級に在籍しながら適切な指導を受けられる特別支援教室の整備に向けた検討(巡回指導員の養成、教室の整備等)を進めていきます。
- 日本語指導が必要な外国人の児童生徒のための日本語指導教室を設置します。



地域に根ざした教育を目指します

地域・家庭・学校の連携の推進

- 地域のさまざまな人材を学校支援ボランティアとして活用し、学校や地域の実態に応じて、学校内外の教育活動や学校環境整備の支援を行います。ボランティアの活用にあたってはコーディネーターを配置します。
- 学校運営や教育内容の改善・充実を図るため、保護者や地域住民の評価を取り入れるとともに、第三者による評価を盛り込んだ新しい学校評価の仕組みを構築します。

学校再編の推進

- 中野区立小中学校再編計画(平成17年度策定)に基づき、統合新校を開設します。(平成23年度野方小・丸山小・沼袋小を閉校し、2校(平和の森小・緑野小)の統合新校を開設／平成24年度第九中・中央中を閉校し、1校(中野中)の統合新校を開設)
- 今後の学校再編については、学校間の連携や地域・家庭との連携などを踏まえて検討します。



自立した個人の育成と心豊かな社会の実現を目指します

学習やスポーツを通じた社会参加

- 「なかの生涯学習大学」での学習を通じて、地域活動のノウハウや技術の習得を目指し、卒業後に地域活動につながる仕組みを作ります。また、区内外の大学等と連携し、それらが持っている生涯学習資源を区民に向け活用を図っていきます。
- さまざまな年代の人たちが運動やスポーツに親しみ健康づくりを行えるよう、地域スポーツクラブを開設します。(再掲)

区の歴史文化・伝統文化の継承と発展

- 区内に所在する歴史文化資源を生かした「歴史文化ゾーン」をつくり、区内の代表的な歴史散策路を設定します。
- 区内に存在する歴史文化資源をICT技術により保存・活用し、区民が歴史文化資源に触れる機会の拡充や情報発信等の取り組みを進めていきます。

学びと自立を支える新しい図書館づくり

- 区民活動センターなど区民に身近な施設を活用して、区民が気軽に身近な場所でいつでも図書資料を貸出・返却できるようにします。
- 区民の課題解決に役立つ図書資料を整備するとともに、各館ごとの個性づくりを打ち出し、より専門的な課題にも対応できるようにします。
- 地域における親子読書活動拠点として、学校図書館の地域利用の推進を図っていきます。
- 指定管理者制度を活用し、図書館サービスの向上と管理運営の簡素効率化を図っていきます。



8つの目標を実現するための共通基盤整備を進めます



安全と環境に配慮した学校施設整備

- 学校施設の耐震化を進め、災害時の避難所としてもより一層災害に強い施設とします。
- 子どもたちが環境にやさしい生活と地球温暖化対策の推進のための省エネを実感しながら学習ができるよう、太陽光発電機器を設置していきます。

学校の情報化推進

- 区立小中学校間及び教育委員会との間で「学校間ネットワーク」を構築することで、学校間の情報共有を図っていきます。